京都帝國大學新聞

月二回　五日・二十一日發行

購讀料　一部五錢（郵稅五厘）　一年一圓（郵稅とも）

廣告料　一行につき金五十錢（記事中は此二倍）　揭載ページを指定するときは二割增とす

發行兼編輯印刷人　入山雄一

發行所　京都帝國大學學友會新聞部
電話上九八〇番
振替大阪七二八九

來年はどうなる？

先づ好晴の豫報

昨年より二ケ月早い其動きを　各學部を巡って打診する

就職戰線・前哨

足一たび法經の控へ室に入ればベタベタと求人のビラがぶら下つてゐるのが目につく

去る十月中旬滿鐵の採用申込を皮切りに就職戰線頓に多忙を極め今年は例年より二ケ月早く今が求人の出盛りだと言ふその採用詮衡も滿鐵の二十日からをトップに各社とも大方はそれぞれ年内に行はれるらしく、就職は一月からとノホホンと構へてゐる學生諸君を置いてけぼりにする恐れがある、その動きを訪ねて各學部を訪へば

法學部

〃以外に早い求人の動きだ、我が法學部の見透しは一昨年より良好であるのは勿論、昨年以上の好成績を納めうるだらう、今の所その眞盛りで何とも判斷できないが大體以上の事が言へる〃と中島部長直々の談話

經濟學部

事務室では〃求人申込は學生控所に掲示してゐます、今眞盛りで何とも言へませんが、去年より關係筋に申込がある樣です一部の會社を除いてはほゞ年内に銓衡が行はれる樣ですね〃とこゝでも〃晴模樣〃の觀測

文學部

は例年の通り、香ばしくなく、申込みもやつと、上海居留民團立中等學校から四人あつただけであるが、事務室で來年度の豫想をきくと從來の職員整理も一段落ついてどうやら混戰も靜まり、又、京大クラブの設立で先輩連との連絡も完全になつて來たので、來春の見込はまあいゝ方でせう、今の所は具體的な申込みもあまりありませんし、年末にならねば判然した事はと、凡そ頼り無い返答である

工學部

來春の就職戰線は好成績であつた、本年春にもまして益々好調で現在既に採用申込をなして來た會社數は實に三十六を算してゐる、中でも採鑛冶金、工業化學、機械工學の各科は全部就職決定濟みで未だ何等の就職運動をしてゐない各科でも土木工學は本年同樣全部就職出來る豫想であり、建築等は現在早やくも三分の一は確實となつてゐる、この好調な就職戰線で特に異彩を放つてゐるのは滿鐵からの六十七名と云ふ大口申込であるが、これに對する學生の希望者は僅かに十五名であり、こゝに滿洲に對する學生の關心の一端が覗へると共に、工學部學生が極めて餘裕綽々たることを示してゐる。

來春の工學部の就職見透しは右の如く、好調を通り越して、まことに華やかな展望を示してゐると云つてよい

理學部

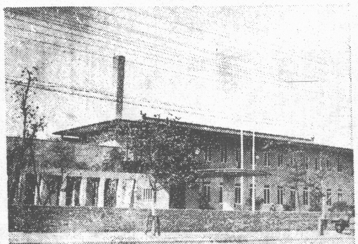
こゝも工學部同樣晴天、晴天を通り越して雲一つ無い快晴である來春卒業の九十名は浮世の就職苦をよそにサイン、コサイン、細胞の構造に、さては星の光度の研究に沒頭して居り、卒業さへすればインフレの波に乘つた各會社へその儘直行と云つた至極好しい狀態にある、事務室でも「いや、倍位不足でせうよ」と豪語して居る位だから、今の所、具體的な求人はあまり無いが、明春三月迄には全部捌ける見込は充分ある

醫學部

法、經、文の各學部が就職難で悲鳴をあげてゐる中に、そんな風何處を吹くかと云つた形でのほゝんと納り返つてゐるかに見ゆる醫學部は、來年度卒業生百廿名のうち、社會の荒波に突進して行くのは赤十字病院へ五、六名、刑務所關係へ三、四名にすぎず、大部分は、副手、助手として月給なしの病院務め、事務室でも「就職の事は少しも考へて居ません」と呑氣至極、實際の就職は三、四年大學病院に年期を入れてからと云つた有樣で、在學中から運動する者はまづ無い

農學部

最近の軍需インフレに煽られた民間會社の好景氣、それに全國に亘る農村疲弊對策、關西風水害復舊事業等々が好影響を齎らして、各教室を訪れて來年度の豫想をきくと「まあ、良い方でせう、判然りした事は三月、四月にならないと分りませんが」と樂觀的な返答である、農藝化學の廿三名は農林省、各農事試驗所、民間では肥料會社、ビール會社へ、農林經濟の卅名は官廳へ、農學の廿名は農學校試驗所へと、各教室ともこれから三月迄には決定して行く見込みである、滿洲國へも大分運動があるが「どうも學生は行きたがらないんでね、實際、今のうち行つて置くといゝんだが」とは某敎授の談



日獨文化の提携を目ざして
獨逸文化研究所成る
去る三日開所式

日獨文化の交換と兩國の親善を目的として、總裁に淸浦奎吾伯、理事長に弘世助太郎氏を推して計畫を進めつゝあつた社團法人獨逸文化研究所は今春來、高工跡に建築中の所、最近完成し、去る三日、午前十時半から同研究所講堂に於て、東久邇宮殿下の台臨を仰ぎ、總長以下關係者出席、朝野の名士を招待して盛大に擧行したこれに引續き同夜、九時十五分から、日獨文化を結ぶ同研究所の誕生を祝してOKから日獨交換放送を行ひ、ラヂオを通じて更に親善の度を高めた

同研究所は今後の事業として、先づ講習部がドイツ語の講習竝に學術に關する講演、講義を行ひ、漸次、日獨文獻の蒐集、飜譯及び出版、日獨文化に關する講演、演劇、映畫放送等、日獨學生敎授の交換のほか兩國文化的交通の媒介を主なるものとして活動を開始する

ゲーテ協會　事務所も同所に

從來京大文學部內に置かれてあつた〃日本ゲーテ協會〃事務所は三日同研究所内に特設されたゲーテツイムマアに移轉したが、本年度大會は昨四日、講堂で第一部、第二部に分ち、晝から夜にかけて、講演に、音樂に、演劇に、詩聖ゲーテを頌讚しつゝ盛大に催された

（寫眞はドイツ文化研究所）

われ等の學友を救へ！

罹災學生救援義金を募る

詳細第二面にあり

學術振興會の補助金きまる
七日の評議會へ報告

日本學術振興會では過日理事會を開き昭和九年度下期學術研究補助を申請二百八十六件に對し補助百八十八件總額二十四萬五千四百三十圓を決定したが內本學關係の分は左の通りで、七日の評議會に報告される筈（數字は金額）

牧健二（法）鎌倉、室町兩幕府時代における莊園と封建制度との關係・四八五

濱田耕作（文）サンテ師、遣歐日本使節對話錄の全譯及びその印行・八〇〇

小島昌太郎（經）我國纖維工業特に絹系紡績工業の更生發展の方途・一〇〇〇

谷口吉彥（經）貿易統制の研究・一〇〇〇

竹田新一郎（理）食變光星β―LYRAE型の光度曲線の分析による恒星構造の研究・九六〇

吉岡藤作（工）高級耐火材（點火栓絶緣物）に關する研究・二〇〇〇

富田清雄（工）寫眞感光材料の製造に關する研究・一〇〇〇

東方益三、福渡七郎、上田嗣男（化研）電氣界面擾亂に關する研究特に膠質における水の研究・二〇〇〇

堀場信吉、城野和三郎（理）反應の研究・二〇〇〇

松原厚（理）硫化鑛石體の電氣化學的擧動の研究・一二〇〇

岩田久二雄（農）日本產細腰蜂類の生物學的研究・三〇〇

清棲幸保（理）鳥類の體溫に關する生理的諸現象の研究・六〇〇

木原均（理）ゲノムの研究・五〇〇

森島庫太外四名（醫）ヂギタリス葉効價測定法に關する實驗的研究・五〇〇〇

山田賀一（工）各種鑛物浮遊に對する鑛液の水素イオン濃度及び各種化學試藥の研究・七五〇

濱部源次郎、佐々木外喜雄（工）二衝程機關スカヴエンヂングに關する研究・八〇〇

學友會各部委員や
選手の就職座談會
大阪朝日・京都支局主催で　來る七日夜開會

運動選手や學友會各部委員は學業成績は幾分劣つても、これを補つて餘るほどのものを持つてゐる筈だ、新人を採用する官廳や會社でも十分この點を理解して貰ひたいといふので、明春卒業する選手、委員の座談會を大阪朝日京都支局の主催で七日午後六時から樂友會館で開くことになつた、出席者は府市當局、商工會議所（竹上副會頭、森口理事）銀行（住友の川勝氏）會社（京電田邊副社長、石川常務）（京ガス隅田社長）百貨店（大丸富尾、高島屋由良、丸物谷各支配人）の諸氏、本學側は選手、委員の外總長、中澤、瀧山兩教授、北村助教授、大野主事ら

合同大座談會
有信會、同好會、學生課で　十四日學友會館で

最後に學生課を訪れて堤囑託の談を聽けば

大同學院から法、經十五名、文二名、その他の學部より十名計四十二名の採用申込があり、學內詮衡は五日（今日）午前九時から開始するが、特に希望の向には學生課で便宜を計りたいと思ふからその後でも遲くない、今年は敎練の成績如何は問題でないからドシ〳〵躊躇せず申込まれたい、主として九年十年の卒業生であるが八年度の卒業生でも兵役關係で遲れたものは申込資格がある、次に來る十四日（水）午後六時半から樂友會館で京阪神の先輩及び實業家の重立つた人々を招いて――學生課、法學部有信會、經濟學部同好會の共同主催で〃本年度の就職座談會〃を催す、多數學生の參加を切望する、近來漸次學部申込から學生課への申込みもあるようになり、中には公募せずして推薦を要求してくるのもある、兎に角一切の人物性行調査は此方へ照會がくるのだから一度學生課に出頭して色々相談してくれた方が何かにつけて都合がいゝ、五つも六つも闇雲に書類を提出してみてどうも無駄ばかりしてゐるようだ、それに注意しておきたいのは一度採用されればその先着に採用された所にだけ推薦することになる、大體これと思ふ所を三つばかり應募するのが策を得てる樣だ、色々の事は兎に角學生課に相談に來給へ、と

もうすぐだ！
代議員改選は
來る廿一・二兩日に

學友會代議員の改選は愈々餘すところ二旬を出でずして行はれることゝなつた、元來部を超越して存する代議員の廣い本質を考へれば中立議員にして眞に學友會發展のため資すべき人が要望されるのではあるが、その實際は大部分が運動各部によつて占められてゐる關係上、本年も例年と大差なくそれ等の出身者が大多數を占めることが豫想され文化諸部は依然淋しい現狀を維持するものと見られてゐる、なほ本年も例年の有權者數に餘り異動がみられないから大體法十一名▼醫五名▼工五名▼文六名▼理五名▼經六名▼農五名計四十三名といふ例年の代議員數に大した異動はなからうと思はれる、因に選擧投票日は來る廿一、二兩日であるが詳細は近く發表される筈

法學部の
特別講義

法學部では去る二日から前大阪控訴院長谷田三郎博士を聘して〃我國の司法部に就て〃なる特別講義を毎金曜午後三時から五時まで第四敎室で開講、同特別講義は來る七日で終るが、中二日置いて九日十日の兩日（午後一時から三時まで第四敎室で）引續いて宮内省御用掛松田道一博士を聘して特別講義〃國際聯盟を中心としての國際政局ならびに日滿獨支の關係〃および〃一般軍縮會議の史的觀察ならびに現存海軍條約を繞る諸問題〃なる題目でその蘊蓄を傾聽することになつてゐる

ラ博士來學
十九日講演

電氣學會の岩垂獎學金による第三回講演者として招聘された米國ゼネラル・エレクトリック會社研究所副長アーヴイング・ラングミユア博士は來る十九日本學に來り「表面化學」の題下に講演することになつた

當日、聽講者の質疑討論は日本語で行はれるが、英文で記した要旨を司會者まで提出せられたき由、因みに博士の業績は、理學、化學工學等他方面に亘り劃期的發明も多く、表面化學、電熱子放射、放熱現象、原子構造論等で、一昨年ノーベル賞を受けてゐる

經濟學部同好會
京都社會見學

經濟學部同好會では本日午後一時から千本丸太町電停に集合して京都市の社會施設を見學する、見學個所はおもに兒童院、第二社會館等で定員は三十名まで、本日正午まで同部事務室で受けつける

印度志士
ボーズ氏
來る十四日講演

久しく沈默をつゞけてゐた學友會講演部では、來る十四日午後三時から法經第一敎室で、印度志士ボーズ氏を招いて講演會を催し、終了後さらに氏を中心に座談會を開くことになつた

今村醫學部教授へ
佛國から勳章

本學醫學部敎授、今村新吉博士は日佛文化に貢獻せる功勞に依り、最近、佛國大統領アルベール・ルブラン氏からオフイシエ・ド・ロルド・ナシヨナル・ド・レジヨン・ドヌール章を授與された、敎授は有名な佛蘭西學者として、永年日佛文化の向上に盡力し來り、七年前の昭和二年にも佛國政府から功勞賞を授與されてゐる

廣告

CORONA Model S
劃期的ノ新機構！
小型輕快ノポータブル
而カモ機能ハ
大型事務用機ニ匹敵
英、佛、獨、露、各國語
數、化、工學用等
凡て完備
東京銀座　黑澤商店　電話銀座1638
京都寺町　文適堂　電話上1004

弘文堂新刊
東京神田駿河臺　振替東京五三九〇九
京都丸太町寺町　振替大阪一七〇五

京大教授・法學博士　烏賀陽然良著
手形法
新裝を以て成れる手形法の權威ある解說書の出現こそ、今日我學界並に實際界が渴仰するところである。本書は正に此の時需を滿すため、我が國商法の最高權威烏賀陽博士がその蘊蓄を傾倒して斯法の解說と其の適用を說示せられたるものにして、一度卷を繙けば平易明快なる敍述の中に深遠なる研究と精緻なる法理とが豊かに盛られ、斯法上の難問疑義は悉く論斷されてゐる。而も豊富なる脚註は條文索引・事項索引と相俟つて讀者の研鑽に便してゐる。學生は勿論研究者・實務家の必讀書として敢へて推奬する。
價貳圓　稅十四錢　菊版クロス製　約三一〇頁
會社法　價三・〇〇　稅・二二

京大教授・法學博士　石田文次郎著
民法研究　第一卷
本書は、博士の著書『財産法に於ける動的理論』上梓以後、今度京大へ轉任される迄の間に發表された勞作の蓄積であり、仙臺時代の記念塔である。收錄せる論文凡て十八篇、何れも徹底せる客觀主義を以て一貫し、博士獨自の動的理論を躍如として展開せしめたものである。民法總則・物權・擔保物權・債權と財産法の全領域に跨り、斬新なるテーマを把握しての博士の理論的分析は、蓋し民法學界並びに實際界に稗益する處甚大である。本書は必ずや轉換期に於ける法律學界に一大敎示を與へるであらう。
價參圓五拾錢　稅二十二錢　菊版背革　約五三〇頁
現行民法總論　價三・八〇　稅・二二

京大法學部教授　近藤英吉著
物權法論
本書は、嚢に好評を博した「債權法各論」と同じく、謂はゞ著者が將來公にせられようとする物權法コンメンタールの筋書である。從て、推論に於ても敍述に於ても無用の重複を避け、僅か二八〇頁の中に、物權法全般に亘つての精髓を系統的に要領よく論述され、眞に斯法の提要たるの實を示してゐる。殊に隨所に施された割註には最新の學說・判例を網羅して、斯法の新傾向を指示し、更に卷頭事項索引を附して何處までも學生や受驗者諸彥に便利なやうに作られてある。
價壹圓八拾錢　稅十四錢　菊版クロス製　約二八〇頁
債權法各論　價一・八〇　稅・一四

法政大學教授　松本潤一郎著
社會集團と社會階級
社會學が社會集團をその根本的研究課題とするのは、凡ゆる人間的文化事實が之を樞軸として、地盤として展開して行くからである。又社會集團のうち階級が就中決定的な契機たることは既に說き古された。問題は然し、集團特に階級並に階級の科學的分析と綜合とでなければならぬ。此書の持つ特質が社會集團を一般的に階級の基礎的論攷と吟味にあることは、そこで專門研究者の範圍を立ち越えた讀者層に呼びかくるものがあらう。著者が解決の方式を投與した少數集團、現代階級等々の取扱は新社會學の效力と淸新さを物語るに足る。
價壹圓八拾錢　稅十四錢　四六版クロス　約二九〇頁
社會學論及學說　價一・八〇　稅・一四

京大名譽教授・文學博士　桑原隲藏著
東洋文明史論叢
桑原博士の論著はその淹博なる學識と共に行文の平易流暢なるを以て鳴る。故に東洋史學界の最高峰なると同時に初學者の好伴侶である。就中「歷史上より見たる南北支那」は博士會心の作にして、支那文明の中心の移動を論ぜしもの。實に坊間幾部の東洋史概說を讀むに勝り、東洋史の趨勢を知るに稗益ありと推奬せらる。『東洋文明史論叢』は桑原博士著作集の第二卷として編纂され、「南北支那」を以て卷頭を飾り、主に支那自身の文明に關するものを內編に收め、別に東西兩洋文明の交涉に關するものを外編に收む。
價參圓八拾錢　稅二十二錢　菊版クロス製　約五四〇頁
東西交通史論叢　價三・八〇　稅・二二

京大助教授・文學博士　本田義英著
佛典の內相と外相
著者は印度學專攻の篤學者。本書は著者が周到なる用意と犀利なる眼識とに依りて佛典を傳統的解釋より解放し、該博なる資料を文獻學的に涉獵し、高等批評の立場より佛典の內相を檢討して或は陀羅尼の祕境を拓き、或は佛敎神話の內容に觸れ、或は又その外相を本文批評の立場より嚴密に研究比較し、一は以て佛典の公平正當なる理解に資し、他は以て印度學研究の寶庫を開かんとす。而して隨所に先人未到の新天地を展開す。佛敎學乃至印度學研究の士は安んじて以て津梁とするに足るであらう。
價四圓　稅二十二錢　菊版クロス製　約七〇〇頁
松本文三郎著　佛典批評論　價三・五〇　稅・二二

湖南博士追悼號　七卷三號
支那學
李卓吾年譜（下）　鈴木虎雄
支那に於ける都市の守護神に就きて（上）　那波利貞
大唐六典及び通典の宋刊本に就いて（下）　玉井是博
段玉裁の說文解字注に就いて　木村英一
敦煌遺書所見錄（八）　小島祐馬
湖南先生追悼錄執筆者
狩野直喜　石濱純太郎　本田成之　小島祐馬
岡崎文夫　新城新藏　小川琢治　梅原末治
青木正兒　那波利貞　武內義雄
丹羽正義　倉石武四郎　神田喜一郎
松浦嘉三郎　鈴木虎雄　羽田亨
季刊　一冊七拾五錢　稅六錢　四冊前金參圓（稅共）

實用製造化學講座

躍進工業日本の實質的飛躍に更に拍車を加ふるもの即ち本講座

▼どんな內容でどんな特色があるか
A・執筆者は最得意時代にある中堅學者と實際社會に活動しつゝある技術家、共に我國一流の權威者。
B・理論を避け平易明快な內容で現場でスグ役立つ
C・項目と執筆者の斷然一致、然かも內容の最新と適切とは動もすれば杜撰の記述多き從來の書と全然類を異にす。

【編輯】
工學博士　小栗捨藏
工學博士　永井彰一郎
工學博士　內田俊一
工學博士　友田宜孝

★製造化學基礎篇
製造化學總論　工學博士　小栗捨藏
耐蝕及耐酸材料　工學博士　山本洋一
工業用爐　工學士　矢木榮
粉碎及濾過と其機器　工學博士　八田四郎次
蒸發、蒸餾及乾燥と其機械　工學士　龜井三郎
化學工業と其の裝置　工學士　內田俊一

★無機製造化學篇
工業用水　工學博士　小栗捨藏
電氣よりの製品　工學士　朽木義雄
電氣化學製品　工學士　岡俊平
鍍金　理學博士　井上春成
電池及蓄電池　理學博士　井上春成
陶磁器　工大助教授　榎本修二
硝子及其加工法　工學士　中西鍵治
琺瑯製品　工學士　高原知義
煉瓦、タイル及耐火物　工學博士　永井彰一郎
セメント及人造石　工學士　山本信行
石灰、石膏及プラスター類　工學博士　永井彰一郎
顏料、繪具及インキ　工學士　松本純三
無機工業藥品　工學士　小倉正暉　岡宗次郎

★有機製造化學篇
石油及天然瓦斯　工學士　山本研一
アスファルト及其製品　工學士　市川良正
リノリウム及油布　工學士　三好彰三
石炭コークス木炭及煉炭　工學士　內田正次郎
石炭瓦斯及工業用瓦斯　工學士　香坂要三郎
タール及染料　工學士　藤木經明
漂白及染色　工大助教授　菱山衡平
石鹸及グリセリン　工學博士　三雲大郎
油脂及其製品　工學士　中村三男
塗料及塗裝　工學士　石橋正樹
樹脂及漆器　東京工試　平野恆一
香料及香粧品　理學博士　澤仁一
ゴム及ゴム製品　工學士　鹽田勉
皮革及レザー　工學士　淸水誠
パルプ及製紙　工學士　米谷玲
人造絹絲　工學士　祖父江寬
セルロイドベークライト其他　工學士　福田一
砂糖及澱粉　工學士　武富昇
製菓　工學士　伊藤俊男
醸造及清涼飲料　工學博士　友田宜孝
榮養品及調味料　醫學博士　下田吉人
有機工業藥品　理學博士　西澤勇志智

★特殊製造化學篇
化學兵器　工學士　山田環
火藥花火及マッチ　工學士　山本祐德
接合劑　工學士　右田秀雄
寫眞材料及寫眞藥品　工學士　福原信之助
製藥　藥學博士　高木誠司

▼第一卷配本開始
申込には何の手數も要りません。申込金と第一回分を書店又は本社へ。

★第一卷內容
製造化學總論
化學工業と其裝置
塗料及塗裝
香料及香粧品

▼全十二卷
▼菊判九ポ新活字橫組
▼各項目分冊製本函入
▼每卷平均壹百頁
▼毎月一回配本一年完結
▼申込金五十錢（最終回配本へ充當）
▼毎月拂二圓（一卷分）
▼一時拂廿一圓（申込金不要）

內容見本無代進呈

學術實用化の先驅

東京・神田・駿河臺三丁目
振替東京四六〇七四
共立社

先づ近かきより□□□ 救へ、わが友の危難を

一碗のコーヒ・一箱のバットを 節しても義金袋へ！

罹災學生救援 義金を募る

四時順ならず、九州の旱害、東北の冷害等等相ついでいたり、みのりの秋を迎へて五穀豐かなる能はず、さらに九月二十一日あさ突如近畿中國を襲うた猛颱風は、幾千の人命と幾億の富とを一擧にしてわれ等の世界から奪ひ去つた、本學もまたその復舊に二百數十萬圓の巨費を要する痛手を負うたのであるが、これら數次の災害は大學を構成する個々人の上にも、容赦なくその魔手をさしのべたのであつて、ある學生の如きは一瞬にして父と兄、兄の妻、兄の子の四人を失ひ、家と田畑とは流されて河原と化し、かゝる廢墟のふるさとに殘るはいとけなき二人の弟妹のみだと言ふではないか、その他これに類する慘事は枚擧にいとまなく、つぶさに事情を述べて學校當局に授業料免除を願ひ出でたもの二十八人の多きを數へる、しかもこの人々の困窮は、單に授業料の減免のみで救はれる性質のものではない、あすの生活を、否、今日の生活をどうすればよいのか、われら新聞同人は「報道」の任務を帶ぶるが故にいち早くこのことを知り、よりより救援方法を講究しつゝあつたが、本紙前號既報の如く某教授の投じた六百圓は、よくわが學友の危急を救ひ得て、淨財としての偉力を十二分に發揮した、われらは感激してその記事を綴つたものであるが、罹災學生は多く、彼らはその成業までにはなほ多くの日子を要する、われらは茲に自らの微力をかへりみるにいとまあらず、多數學友、敎職員、先輩諸賢の同情にうつたへ、稍久しき期間に亙つて、罹災學友のために義金募集を發表する、われらは自らの微力を知るに吝かなるものではないが、しかれども又「數は力」であることを信ずる、もし諸兄が愛煙家であるならば、毎月一箱のバットを、然らざれば一碗のコーヒを、半歳に亙つて節約することによつて四・五十錢の淨財は直ちに捻出し得るではないか、世間に不幸の人は多い、われらは先づわれらの最も近きところに向つて溫き手をさしのべよう

友よ、われらの机上に義金の雨をふらせ！

罹災學友をして斷じて餓えしむること勿れ！

方法

金額　制限を設けず

期間　十一月五日から明年三月末日まで

▼**學生諸君**　は十一月五日から十日まで六日間學內各所に義金受付を設けますから、なるべくそこへ御持參下さい、その以後は新聞部ルーム（學生課奧）へ

▼**敎職員諸氏**　は直接訪問してお願ひする等別の方法によります、もし毎月いくらかづゝ明年三月まで繼續御出捐願へれば一番有り難く存じます

▼**卒業生**　その他今學外にある關係諸氏は便宜新聞部の振替口座（大阪七三二八九番）を御利用下さい、但しこの場合新聞代等と紛れぬやう義金であることを御明記願ひます

分配　集つた金は毎月一回學生課と協議の上最善と認むる處置をなし、その都度紙上で報告します

其他　義金に對しては別に領收證を出さず、紙上に金額氏名を明記してこれに代へます、但し特に領收證を要する場合はお申出下さい

京都帝國大學新聞

貧乏について「天野教授に答ふ」

高田保馬

その一

京都帝國大學新聞第二〇八、二〇九號（本年十月五日、廿一日）に於て、天野教授は拙著「貧者必勝」中の「貧乏の話」に對する批評を述べられた、數ならぬ拙著が教授によつて注意せられ清覽を得たばかりでなく詳細なる批評をも與へられたることをまづ深く感謝しなければならぬ、敎授の批評に對しては私見を述べて答ふることが學徒としての禮であると信ずるが故に敢て此事をとる次第である、知を辱うすること幾十年、其間不斷の敬慕を捧げてゐる敎授に對して言辭を失せざるように十分に戒心してゐるが、人間として過なきを保せぬ、若しさう云ふ點もあらば切に敎授の寬恕を乞ふ

敎授の批評は上中下の三段に分れてゐるが、私の見る所によると其中最も中心的なる部分は上に於て述べられたる部分、即ち貧乏は道德となるといふ私の

根本の主張に對する批評

である、これに對する答辯からまづ述べる

此根本問題に關する敎授の主張の要點は「敎授（高田）は貧乏といふ事實が如何なる場合に道德的の意味をもつかといふ問題については一言も述べられず報謝は道德、貧乏は報謝故に貧乏（は道德？ 筆者）といふ無造作な推論としてをられる」といふにある、果してさうであるか、私は全く之を否定する、否定する爲には新しいことを述べる必要はない、私の著書の文句がすべて明白に之を證明するであらう、私は貧乏が無條件に道德であるとは考へてゐないし述べてもゐない、貧乏が道德である爲には少くも二の條件を必要とすると思つてゐる、第一貧しい生活が

人間の完成を妨げない事

第二、貧乏なる生活が社會に報謝する所以であるとの認識が十分であること、第一の點を私はかう述べてゐる「若し一定の生活標準が能率の發揮の爲に生活の充實の爲に必要であるとするならば、貧乏が一面社會の存續の爲に寄與するところであるにせよ個人を支柱としてはじめて存立するところの社會であるならば、此の標準に達せざる生活即ち貧乏の生活を營むことは個人の完成を妨げ延ゐては社會そのものを損ふに至るであらう、けれども（中略）不足が必ずとは言へないが極めて多くの場合に於て誇示しうることの不足であるならば、貧乏によりて能率の發揮や人間としての完成が妨げられることはないであらう」（貧者必勝一二〇頁）

社會を損ふものが道德で

あり得ないことは私の全主張から自明のことである、敎授は此部分を讀まれなかつたのであるか、又私は一方に社會への積極的貢獻を以て報謝の必要條件としてゐる能率と完成とを損ふことが此積極的報謝を損ふことも云ふまでもない、第二の點について次の如くのべてゐる「社會は知識を動かし知識は道德を動かす」（九六頁）「上に述べたる事態が漸く廣く認識さるゝ時に必ずや道德の內容は改まるであらう、貧乏は道德となるに至ると思ふ」（一二十頁）「知識の動きが貧乏を、人がそれから免れたいとのみ思つてゐる貧乏を道德と見るに至らせる」（九六頁）此反省が十分になるとき、やがて此貧しき生活は道德的なる矜持となる」（一二四頁）私の立論は貧乏が

必ず道德であると云ふの

ではない「社會の機構を思へば貧乏が報謝の道である」といふ認識が得らるゝとそれが道德となるといふのである（貧乏は道德であると書いたところが一個所あるがそこに述べてゐる部分は貧乏を道德たらしむる認識のもたれてゐる時の考方である）此點に於ける私見の叙述は明瞭ならぬ點もあるが、敎授に於て理解しようとする意思と努力さへあるならば讀み落しはされなかつたはずである。故に敎授が私見の結論と見らるゝ點「死んでしまふのが最上の報謝とならざるを得ない」といはるゝのは私が積極的報謝をとき、人間の完成をとげることを自ら紹介されて居りながら忘れられたのであらう、貧乏といふ事實が直に

道德的意味をもつならば

社會は有德者の多きに惱しむと云はるゝが貧乏の事實が直に道德であると私の述べざることは引用の通りである、敎授の結論はその部分を讀まれざることから來る、要するに私が貧乏といふ事實が如何なる場合に道德的の意味をもつかといふ問題について一言も述べずといはるゝのは述べた部分を多分よまれないからのことである、私のはくりかへし述べてゐる、私の論旨の誤解であるなら誤解の責任は私にあるといはるゝが、讀まずして誤解の責筆者にありと云はるゝのに對しては服しがたい、私見を十分に理解せられてゐる飯野裕城氏の論文「道德としての貧乏について」（道德敎育本年八月號）の如きは誤解の責の私にないことを證據だてゝゐる。

訪日遊歴視察記から

滿洲國民政部事務官石井貫一氏の率ゐる訪日文化視察團は、滿洲に歸つてから「訪日遊歴視察記」を出版した、うち本學に關するところを譯すれば……

帝國大學は日本の最高學府であり建築の壯麗內容の充實はこゝに特筆するまでもなく一般衆知の事實であります。私共旅行團に對して總長は敎育の徹底を具さに省察しその知識を以て滿洲國敎育の現狀を振興せらるべしと說かれ又今咲誇る櫻花は日本の民族精神を象徵したものであることを說明し我々の注意を喚起してくれました、又農學部長は農業敎育の必要について「自分は滿洲國を視察してその地味肥沃にして物産の豐饒なるを見羨望の念に堪えなかつた。しかしこの天惠の産業國に何等農業敎育の施設がなかつたことは遺憾でありこれが設備は洵に滿洲國にとつて緊急の問題であらねばならない、我が日本に於いては建國以來農業の進歩發達に努力して來た結果今日では發達の極に達し全國を通じて農業大學が四校同じく專門學校は十餘校其他農業の中小學校は六百餘校を數へ農事補習學校に至つては各鄕村殆んど設置されこれを二十年の昔に比べて實に隔世の感があります。されば滿洲國に於ても特に農業敎育を忽せにされない樣切望に堪えません」と力說されついで本國の農學部の敎授連を紹介されました。木原敎授は農業の專攻であり同敎授の研究により十種の小麥中始めは二種しか食し得なかつたものが現在では全部食し得る樣になつた、又菊池博士の專門は果樹園藝であり滿洲國錦州以西の果樹については特別の研究を有し又現在寒帶で良く果樹が栽培し得る樣になつたのは同敎授の研究の賜です。志方敎授の研究科目は滿洲國の森林とそれによる製紙製糸であり又高木敎授は農業經濟の專門家で特に滿洲の農業經營について苦心研究を積まれてゐます。參觀を終り正午大學主催の午餐に望み記念撮影を行ひ帝大病院に到りました。

內外時事

◇…世に政治家ほど實際的な人種もないが、そのくせその標榜はまた思ひきつて理想的―空想的である。例の政・民兩黨の聯攜工作の進行が語るものも、その一例である。

◇…渦の中心に四つを數へる。第一は舊政友系（山本、望月、島田等）と民政幹部派（川崎、頼母木、永井等）と國同（山道系）との一派、第二は宇垣擁立を目指す政友（久原）民政（富田）國同（中野）を繋ぐもの、第三は床次、町田、山崎らの現閣僚を主體として舊政友系、中立系政友、民政及び全國同を糾合せんとするもの。陸軍のパンフレットに拍車されて起つたといふ政・民少壯派の提携運動もありとか。生存と、よりよき生存、政權を狙つての足搔き、テープを切るは誰？

◇…衆議院に絕對多數を擁しながら政權にありつけぬ政友會が岡田內閣の影薄きに乘じ、臨時議會後に取つて代らうと躍起となるは無理でないが、彼の焦躁に拍車したものに床次氏の臨時首相代理說あり、〝本格首相が嚴存するのに何の讒言を〟と腹で笑つて濟ませるデマも、政友會あたりでは本氣で氣を揉んでゐるといふから驚く。

◇…床次氏といへば、新翰長吉田茂氏の進出は氏の推薦に與つて力あり、岡田內閣ではなく、床次勢力の補強と見る者もある。吉田氏は鈴木政友にも陸軍首腦部にもよく、財閥にも惡くなく、貴族院でも同じく國維會の大幹部たる後藤內相以上に買つてゐるといふ噂だが、岡田內閣の政治工作の參謀本部は後藤氏から吉田氏に移行し、或は移行するであらうといふ。床次勢力の進出として政友會が瞼を焦がす所以。

◇…御大一木樞相が口をきいたかは知らぬが福岡縣知事から新警視總監にせり上つて來た小栗一雄氏に何を期待しやう。吉田翰長の揮ふ采配も岡田內閣更生の妙法とはなるまい。齋藤前首相の据膳で兒玉秀雄伯が拓相になつても掃溜に鶴が降りたとは見れず、岡田內閣の低調をどうすることも出來ない。

◇…組閣當時の不手際、在滿機構改革問題の失敗、二度も繰りかへした增稅尚早論も食言となり、××の强硬派に對する手綱捌きも心許なく、產婆役の前內閣に長老が「國策審議會」といふ支柱を押賣するも無理とはいへぬほど現內閣の影は薄い。臨時議會、通常議會、此の難關を無難に越せるとは思へない。

◇…呆氣ないは河田前翰長の引退であつた。組閣當時、貴族院の抱込みにも、政友會の拉致にも失敗したが土の着き始め、在滿機構改革問題では、前政務次官で政府案の立案者―改造劇の立役を勤めながら現地の手當を忘れて首相に煮湯を吞ませた責を負うての退陣であらう。

◇…あの改革案に對する現地の反對も政府の强行策で押し潰されて事落着は目出度く、あれ位の反對運動は〝官紀を紊したものではない〟と認定して貰つたことは、現地官僚には有難い仕儀だが、吾吾にはこのおさばきに承服し難いものがある。

◇…命令系統の最下部にあり、然かも上命下服を生命とする關東廳の上長官が直接の上長官を差し措いて最上部の拓相・首相に强訴性の陳情を試み、主務省の次官等首腦部に向つては不信任の砲擊を叩きつけ、紳士たる執行官吏が政治的意見を以て內閣に對立抗爭する。これが官紀紊亂でないとすれば、軍部のパンフレットぐらゐ問題にならぬ。

◇…判任官が事務官を信用せず事務官は首腦部の軟弱を攻擊する新聞紙が「下剋上」といふ古るい文字を引つぱり出したも當然であらう。既成の國家機構の嚴格な規律は破られ、現在の政治機構內部の精神的結合が著しく脆弱となつてゐることを暴露した。受難期の政黨が統制力を失つたは無理ではないが、政治的中心勢力たらんとする官僚の間にも、軍部にさへも分派ありと聞くは嬉しくない。この分散、政治不安の原因である。統一の前の既成機構の自己解體である。

◇…「國防の本義と其强化の提唱」は、果然各方面の關心を呼び十一月評論雜誌の大看板となつて甲論乙駁、なかなかの賑ひである。何れ議會でも一と揉みは免れまいが、最近「靑年將校」の間から、「陸軍の總意」を以て「公式」に「經濟機構の變革」を宣明したものだといふ見地に立ち、昭和維新機運の劃期的發展を目指して、パンフレット趣旨の擴大强化を圖る擧が揚つてゐるといふ噂もある。未だ讀まれない諸君の一讀をすゝめる。

◇…爪を咥みながら隱退の機會を狙つてゐた若槻男の總裁辭任は臨時議會の政界を一と波瀾つた。この明哲保身術の達人に見放された民政黨、政黨の前途は愈々暗澹、聯攜成つてもウドの立ち腐れにならぬとは云へない。

新刊紹介

◇…和蘭の印象と國際法廷の九個年（前田眞著）日蘭會商、國際聯盟脫退等々を機會に、かつて大阪朝日新聞に書いた一文に增補改訂を加へたもの、國際的知識の缺乏を補ふための絕好のよみものである（立命館出版部・一圓廿錢）

◇…最近四ケ年大學入試英語問題研究（佐伯正一著）浪高敎授たる著者が職務上當然の義務であるといふ責任感から英語に關する全問題に親切なる解答を示したもの（平野書店・一圓七十錢）

HOT CAKE WITH MAPLE SYRUP 15

ほんとうのハツケーク
たゞしい調理法
地下室食堂

十一月一日號
國家試驗
◇◇未遂罪と自由刑……法學博士・東大敎授 牧野英一
新訴訟行爲の方式―新訴訟行爲の場所―新訴訟行爲の公行……大審院檢事 岸田忠美
◇新訴訟行爲の種類
◇從物に就て……東京地方裁判所判事 谷井辰藏
◇新訴參加……東京地方裁判所判事 野間繁
◇本年八月施行朝鮮辯護士試驗問題解答……法學士 中山榮太郎
◇民事判決書解說……東京地方裁判所判事 林
◇民法答案（七月十五日號課題）選者 野間繁
◇双務契約とは何ぞ……同 力石義忠
◇先取特權とは何ぞ……同
◇勅令を以て罰則規定を設くることを得るや 憲法答案（八月十五日號課題）……同
◇豫算は分割することを得るや……同
◇解散の法律上の性質及政治上の作用如何……谷政徹夫
◇憲法の殖民地に對する効力を論ず……同
◇刑法總論口述問答……島津嘉孝
定價 一部 五十五錢 送料二錢
東京市本鄕區森川町 帝大正門前 育成洞 電話小石川七八一番 振替東京一七三三四番

小山齒科醫院
東京齒科醫學士 小山正光
市電白梅町西二丁北入 電話上五八二五番

最新刊
俗つれづれ
四六判・三〇八頁
表紙・箱・著者裝幀
定價貳圓・送料拾五錢
大阪朝日論說委員 釋瓢齋著
「天聲人語」執筆者
聖典講義より「俗つれづれ」へ

著者曾て京都支局長たりし時「俗然」欄を設けて、京都附錄の紙價を高からしめ、現在は「天聲人語」をものして大朝百五十萬の讀者を唸らす。袈裟をかければ非僧、その書く處は一貫せる禪僧にして非俗なり。

「天聲人語」子・釋瓢齋氏、その書く處短文なりと云へども、人心にアッピールすること、小粒なれど山椒の如し氷山の物理的現象は海に姿を表す處三分の一。海中に沒する處三分の二なり「天聲人語」又然り。曾て故直木氏逝くや、夕刊紙上の小說「弘法大師」、紙上より去らんとし、百五十萬讀者の切なる願ひは遂に瓢齋氏に續編をかゝしめた。右手に論說を、左手に通俗小說を、更に壇上に禪を語る。その博識・雜學は、新聞界の博識・雜學博士故土屋大夢氏をして「博學と讀書量、瓢齋氏の右に出づるなし」と讃嘆せしめたことで知れよう。本書は著者最近の隨想隨筆集だ。今や讀書界は聖典講義に飽いた。敢て俗中の聖典講義「俗つれづれ」をすゝめる所以である。

わが國文學中隨筆の双璧は、平安朝時代清少納言の「枕草子」と、南北朝時代の卜部兼行の「つれづれ草」である。前者は宮廷の事柄多く後者は佛敎のことが多い。昭和の「俗徒然」は佛敎思想をヒンテルランドとして俗中にテーマを捕へた點大衆の好讀物であらう。

讀切れの虞あり、書店にない節は直接電話又は振替の利用をされたし。市內に限り速配無料

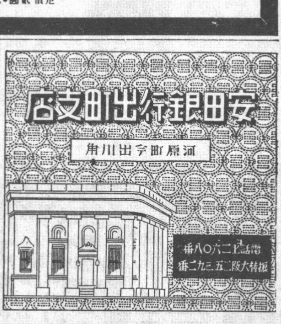
京都市河原町二條下ル
電話・上・壹八四八番
振替大阪八貳壹六參番
人文書院

制服
¥23.00
¥25.00
¥26.00
¥28.00
ヨリ良き品をヨリ安く
今絕好の御誂期
オーバーコート
¥30.00
¥35.00
¥40.00
上木堂洋服店
百萬遍停留所北角
本店 丸太町河原町東入 電話上（1916 3971）

16ミリ小型活動寫眞機の御用命は
諸官衙、學校御用達の……
16ミリ活動寫眞機專門店
エヌ・サタケ
京都市六角烏丸東 電話（2）四一三〇 六一九二

貸室
溫水式暖房
各室電鈴
完成
（備設）
食堂理髮娛樂室
浴場庭球場
案內書贈呈
百萬遍電車停留所前
京都アパートメント株式會社
電話上四四八八番

京大共濟部指定商
中小路時計店
農大前
HOSPITAL WATCHES & SPECTACLES. K.NAKAKOJI
時計と眼鏡



安田銀行出町支店
河原町今出川角
電話上二六〇八番
振替大阪二五三九二番

第十二回
十一月一日より廿七日まで
滿目蕭條たる秋を豐かに活氣づけ滿都の人氣を集めたる!!
菊花懸賞付
觀覽會開催
朝陽園主 前田太三郎氏後援
菊御料理
金貳圓（八品）
金貳圓五拾錢（九品）
金參圓（十品）
（菊界研究者川村松之助氏御推獎）
賞品
第一位 銀牌一個宛 御十名樣
第二位 銀牌一個宛 御十名樣
第三位 銀牌一個宛 御十名樣
懸賞規程 詳細は當店菊花壇に揭示致居候
御投票ノ開票 十一月二十八日各新聞記者御立會の上開票
發表 昭和九年十二月一日大朝、大每、京都版紙上に於て御芳名連記
三階大廣間（二百疊敷）
四階大廣間（百疊敷）
眺望洛中隨一
御宴會
御婚禮
御料理
本店 木屋町（加茂川筋）松原北
支店 四條河原町南
鮒鶴
電話下（5）
代表 七六九〇番
七六九一番
七六九二番
七六九三番
支店專用 三九七番
御注文榮進呈

珍らしやこの一戰

東西四大學聯合陸上競技

今シーズンの掉尾を飾るべき

慶大日吉臺運動場開き

早慶對本學關大

故福澤翁生誕百年祭記念慶大日吉臺競技場開きに早大慶大聯合軍對本學關大聯合軍の陸上競技大會が來る十一日午後一時半から行はれることになつた

先月廿一日四大學の競技部代表者が甲子園スポーツマンホテルで會合の上、左記の要項で既にメンバー交換も終つたが、日本陸上競技會最初の試みとして東西の强豪四大學が聯合對抗戰を行ふことゝて多大の興味をかけられ、今シーズンの掉尾を飾る大試合として本學軍も元氣旺盛で十日に關大と聯合して出發することになつた、なほこの試合は今年から毎年東西交互で開催されることになつてゐる

各種目西軍メンバー

△百米　原田正夫、千田信夫、田島直人(以上本學)川手輝典、谷口睦生(關大)
△四百米　松本政雄、原田正夫(本學)藤枝昭英、小西秀夫、中島直矢(關大)
△千五百米　本山近思(本學)藤枝昭英、井關清、木下敏雄、小西秀夫(關大)
△五千米　岩田金次郎、本山近思(本學)井關清、木下敏雄、望月宇三郎(關大)
△高障碍　原田正夫、千田信夫、柳井深造(本學)福田時雄、城戸壽彦(關大)
△八百米繼走　原田正夫、松本政雄、千田信夫(本學)藤枝昭英、川手輝典、谷口睦生(關大)
△走巾跳　原田正夫、田島直人、千田信夫(本學)福田時雄、戸上研之(關大)
△圓盤投　川島一雄、松野榮一郎、徳永博太郎(本學)戸上研之、長尾三郎(關大)
△槍投　徳永博太郎、加藤正夫(本學)城戸壽彦、長尾三郎、戸上研之(關大)
△鐵槌投　川島一雄、松野榮一郎、徳永博太郎(本學)城戸壽彦、長尾三郎(關大)
△三段跳　原田正夫、田島直人(本學)福田時雄、近藤滿一、戸上研之(關大)
△走高跳　星格六、柳井深造(本學)福田時雄、近藤滿一、戸上研之(關大)
△棒高跳　星格六、加藤正夫、田島直人(本學)城戸壽彦、近藤滿一(關大)

東軍メンバー

△百米　西田修平、高野忠幸(早大)鈴木聞多、村上慶三郎、金田清英(慶大)
△四百米　磯武雄、鈴木聞多(慶大)窪田博芳、瀧澤正雄、森町三之助(早大)
△千五百米　菅沼俊武、今井哲夫、島村乙也(慶大)朝倉允、中村清(早大)
△五千米　竹中正一郎、星野伊太郎、木村正茂、瀧谷松夫(慶大)多田秋衛(早大)
△高障碍　清水孝太郎、村上正、安達清(早大)曲淵景一、兒島嘉男(慶大)
△八百米繼走　西田修平、高野忠孝、窪田博芳、瀧澤正雄(早大)金子鐵二、鈴木聞多(慶大)
△走巾跳　西田修平、鹿内漁吉、湊川捨三、村上正(早大)關根泰孝(慶大)
△圓盤投　上修文雄(早大)大江季雄、青木半治、本能精、儀不智(慶大)
△槍投　佐藤新治、井後清、小林克父(早大)植野登(慶大)
△三段跳　西田修平(早大)飯島正德(慶大)
△走高跳　村上清、安達清、矢田喜美雄(早大)橋本正延、長谷川三(慶大)
△棒高跳　西田修平、北皐文、野秋正直、中村正四郎(早大)大江季雄(慶大)

關西學生陸上競技決行

十七、八兩日、大阪で

前號既報、颱風のため一時中止と決定した關西學生對抗陸上競技會は去月廿一日に開かれた聯盟緊急役員會で本月十七、八の兩日大阪市立運動場で決行することになつた、本學と關大との首位爭ひに興味をかけられてゐるが、本學軍は今年こそ一擧に王座を奪還すべく意氣込んでゐる、なほ去月廿一日甲子園で行はれた全日本陸上選手權大會には本學の四君出場し奮戰して左の成績を收めた

▽圓盤投一等38米13松野▽走巾跳二等7米18原田三等7米6田島▽高障碍二等15秒4柳井▽三段跳二等15米32原田▽鐵鎚投三等44米41松野

球籠

大阪商大を却けて

愈よ關學と對戰

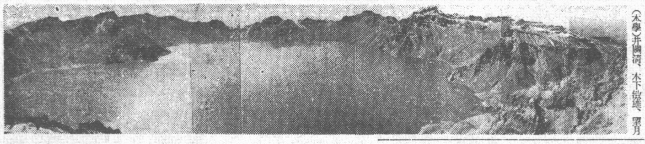
三年連覇成るか!

【一部既報】關西學生籠球聯盟第八回秋季リーグ試合の第一部に出場の本學籠球部は毎土、日曜日阪神間各コートに轉戰したが神戸高商を破つて以來、同大、甲南を輕く却けて去月廿七、八兩日大阪商大と對戰し、左のスコアで堂々と擊破した、過日東大に一敗して全國の覇權を危ぶまれたが、關西に連續三年優勝の榮冠はかゝつて對關學の一戰にあることになつた

本學　55（2926—2213）35　大阪商大
本學　58（2929—1910）29　大阪商大

對關學戰　十七、八兩日甲子園コート、本學メンバー、FW岩尾、平塚、山本、福山、上關、C山本、橋本、G松本、石田、石川、小倉、永井、加藤

慶大前　岡本寫眞場



雪の白頭山をスキーで登る

旅行部山岳班の快擧

旅行部山岳班ではかねて滿洲國と朝鮮との國境にそびゆる長白山脈中の最高峰白頭山(二七四四米)の冬季登攀を計畫してゐたが、何分冬山としては前人未踏の地のことなので今夏部員を派遣して詳細の調査をなさしめ、その結果に基いていよ〱決行することに去月廿三日の部會で決定、同卅日後詳細なるスケヂュールを發表したが、この壯擧に參加するものは、先輩今西、高橋、奧、細野、半吉の五君と學生、長谷川、堀、西堀、加藤、兒島の五君の外府立醫大の谷君も加はり總勢十一人で、長白山脈における原始林のスロープでスキーをこゝろみ、頂上「天池」畔に露營して、氣象學的研究もする、スケヂュールは

十二月廿一日先發隊四名京都出發、二十五日惠山鎭着胞胎里に向ひ、本隊七名京都發、二十六日胞胎里より三地淵に至り小屋建設、二十七日小屋建設、二十八日本隊と合し編成替を行ひ愈よ昭和十年一月一日白頭の頂上を極め七日再び編成替を行ひA班は惠山鎭にかへりB班は茂山に出でそれぞれA班は十一日、B班は十三日京都に歸着する

資金集めに 映畫會

來る十九日夜「日出會館」で

なほこの壯擧を決行するには約三千圓を要するので、資金の不足を補ふため、來る十九日夜日出會館で映畫會を催し「火の山」「銀界縱走」等を見せるが、會員券は五十錢券、圓券の二種を發行する

(寫眞は頂上にある天池)

ホッケー試合

對神戸外人 十日神戸で

十日午後三時から神戸東遊園地で本學對神戸外人のホッケー試合を行ふ、本學メンバー左の通り

RW飯田、櫻井、柏熊、太田、清水信、RH井田、笠木、小倉 RB津經、勝野、GK清水敏

ホッケー大勝す

對名醫大戰

本學　9（3 0—6 0）0　名醫大

本學對名古屋醫大定期ホッケー戰は去月廿八日本學運動場で行はれたが九對零で本學大勝した

アイスホッケー

初試合に勝つ

本學4—3同大

本學アイスホッケーチームは去月廿七日午後六時半から京都スケートリンクで初めての試合を同大と行つたが四對三で勝つた

對淸水貿易戰

本學敗退す

本學2—12淸水貿易

同大を破つた本學は横濱の强剛淸水貿易を迎へて三日午後六時卅分より京都アイススケートリンクにて對戰、白澤、松南などよく頑張るも試合慣れした淸水貿易チームの猛襲に阻まれ12對2の戰績で敗る。なほ十一月十日午後八時より對立敎大學アイスホッケー戰を京都スケートリンクにて行ふ

陣容の不整備で 苦戰を豫想さる

對關大サッカー戰

既報のとほり、本學サッカー部は關西學生リーグ戰開始以來、今年こそ全國の王座へ!と精進めざましく奮鬪を續け、大阪外語を蹴し去月廿八日の對阪大戰にも左のスコアで大勝したが、主將福安君は脚を負傷して當分出場不可能となり、從つてセンターハーフに充分な能力を備へられず、その他數名が健康を害したため、陣容の重要な位置を占める選手不整備から相當の苦戰を免れまいと云はれてゐる

本學　5（2 3—1 0）1　阪大

主審後藤氏、本學陣容FW長岡、眞田、小田、山中、高田、HB古川、今村、瀬野、持地、栗原

學友會各部長を招いて懇談

金澤

松井學友會長は明六日午後五時から學友會各部長を樂友會館に招いて晩餐をともにし、學友會全般の發展振興について各部長の意見をきゝ懇談することになつたが、これは現總長になつて始めての催しである

射擊部勝つ

對關大定期戰

本學　541—476　關大

本學對關大射擊定期試合は去月廿八日午前十時から深草射擊場で行はれたが右の記錄で本學快勝す

ラグビー

白獅子威力如何!

シーズン佳境に入り

朝鮮鐵道軍を一蹴す

(何れも花園球場)

既報のとほり去月廿一日花園球場で本學對朝鮮鐵道局のラグビー戰が行はれたが本學よく奮戰し强力なFWと快足を誇るTBとの連絡によつて鮮鐵陣を攪亂し、一擧に關西を席卷せんとした鮮鐵チームを次のスコアで擊破した

本學　18（5 13—10 5）15　鮮鐵

(微風快晴、主審松見氏)

なほ來月五日の對同大戰までに次の日取りで三試合を行ふことになつてゐるが、主將を失つた本學チームは悲しみの中にも今年こそ胸間白獅子の威力を發揮して「失はれたる王座」を奪還すべく内藤先輩のコーチで連日猛練習を積んでゐる、一般からも「京大强し」「奮起せよ白獅子」と多大の期待をかけられてゐるが、次の主將はFBの天野君を推すことに内定してゐる

對神戸商大　十一日後二時
對神戸ラグビー　十一日後二時
對關學　十七日後二時

布施冬樹君

本學ラグビー部主將布施冬樹君(經、三)は去月初めから風邪で臥床中のところ廿二日午前六時遂に死去した

布施君は本學チームのFWバッククローとして活躍し、今春以來主將の責任を負うて近來不振の評あるラグビー部を一擧に振興せんとして部員を督勵しつゝ第一線に立つて來つたのであるが去月十四日の東京文理大との試合の際に、氣分も良いからとて押して出場して本學チームを大勝に導いたあと、發熱して直ちに本學病院松尾内科に入院加療に努めたが遂にその効なく學友部員、先輩らに見守られて永眠した

ラグビー部では廿二日夜部員一同集つて、部葬とし御通夜をしたが學友會員多數の燒香あり、遺骨は廿三日嚴父の手に抱かれて東京へ歸つた

アルファ　農學部前

輝く戰績を示して 本學遂に優勝す

關西五大學野球戰

既報のとほり本學野球部は秋季關西五大學リーグ戰に快勝を續けて來たが最後に對立大戰で二敗を喫したが去月廿九日の立大對關學の試合でリーグ戰を終了した結果、本學は七五〇の勝率で第一位に立ち見事優勝の榮冠を握つて、久しく得られなかつた聯盟盃を獲得した

卓球部意氣軒昂

關西第一部に優勝し

關西學生秋季チーム大會に臨む

春季以來連戰連勝、輝く戰績を示した卓球部は秋季關西卓球聯盟戰にも去る廿六日の對同大決勝戰に3—1で大勝して優勝の榮冠を握り、來る十一日千里山關大ホールで開催される全關西學生秋季チーム大會へ出場することになつた

同大會の第一部は本學、關學、神商大、阪大、大商、浪高、大外語、同大の八校の爭覇で、本學と關學は優勝候補と目されてゐるが、結局關學とせり合ひを演じて雌雄を決することになるであらうと言はれて斯界の注視を浴びてゐる

法政に勝つ

23-12

きのふのラグビー戰

本學對法政大のラグビー戰は昨四日午後二時半から甲子園南運動場で行はれた、東京で立敎との一戰に多年の宿望を遂げてこれを破つた法政は、昨年よりも更に强力なFWをもつて本學に迫らんとしたが本學も今年こそ見事更生の眞價を示さんと獅子奮迅よく23—12で法政を一蹴した、スコア及び概況左のとほり

本學　23（10 13—6 6）12　法政

主審巖氏、線審坂井、平野兩氏

【概況】微風快晴の芝生に法政先蹴で開始、中央線から一進一退するうち、法政ルーズに反則あつて本學礒田これをプレースしてゴール成る、法政FWよく球を得るも本學よく守つてこれを潰し、十五分法政本學陣深く攻め入るも、本學小川敵球を拾つて一擧に長驅八十ヤード見事にトライ、礒田のゴール成る、續いて本學十八分中央右のルーズの球を左に廻し伊知地中央に快走してトライ、礒田ゴール、法政FW强力におしてよく球をTBへ廻すも本學TB深く守りおりおり得る球を廻して一擧にトライせんとし時にキックを用ひて突入せんとするも果さず、法政廿八分自陣右寄り中央に反則してプレースされドロップアウトとなつたのを蹴り返して左ラインに沿うて一擧にトライし、FW奮戰して本學陣に割つて出で、三十三分本學陣右へ突入し球を左に廻してトライ、ゴールならず、本學FW必死におし返さんと中央にもみ合ふうちハーフタイム

後半、本學FW俄然奮戰に努め、よく球を得てTBへ廻さんとし十五分中央右寄りのスクラムをキープし幾よくヒールアウトしてTB輕快に左へ廻して伊知地中央へ走り込みトライ、礒田ゴール、十一分本學右をめがけて敵陣に突込むも果さず、急に之を左に廻しTB全部を渡つてトライ、礒田ゴール成る、この時敵のキックをTB受けて右へ渡すもゴールライン寸前にタックルされ、續いて法政にピックアップあるも礒田ゴールを逸し、法政FWじり押しに攻めて割つて出であはやトライと見ゆたが果さず、反則あつて返され、法政廿四分左寄り廿ヤードのルーズから右へ廻して、法政綜方コーナーフラッグすれ〱に跳込むのを伊知地飛付いて共に倒れ込むもトライ、伊知地負傷して焦るも終にTB線に立てず、法政續いて追擊急に中央ルーズの球を拾つて左に突込み、十ヤード前にタックルさるもまた拾つてトライ、ゴール成らず、その後双方FW、TB入り亂れておし合ふもチャンスなく接戰に終る

本學
原口川永田村藤藤藤木地田野川弟
梅山吉久池吉佐伊齋高伊知松小天野
FW　HB　TB　FB
比
田木野藤川鐸　崎　多本岡石井守方
沼青中加市惠林岩本橋勝大長式緒

地方農事關係者と 農經教室の懇談

今年は十・十一兩日名古屋で

農學部農林經濟學教室内に、昭和四年誕生した農業經濟集談會は、毎年春秋二回の集會を各地に開催して來たが、今年はその第十二回を十一月十日、十一日の兩日名古屋市に開き、愛知縣農事關係者との會談のうちに、同縣下農業の改善を計ることゝなり、十日(土)は午後一時から五時まで、愛知縣信用組合聯合會事務所樓上にて合同講演會を、六時から同會場で懇親會を開き、翌十一日(日)は午前中附近の農業事情見學を豫定して居る、本學側講演者は左の如し

▽平沼延一▽桑原正信▽渡邊庸一郎▽永友繁雄▽橋本傳左衛門

學生武道の王者!

板谷君見事優勝

全日本學生劍道聯盟大會

第七回全日本高專大學學生劍道聯盟大會は本月三、四日本學前に武德殿で行はれ三日には本學集會所と樂友會館で懇談會と委員會を開催し、四日午前八時から武德殿で全國七十六校の選手對校戰を行つたが、本學劍道部板谷君は奮戰を重ねてよく豫選勝者十六人の中に入り、準々決勝では武專の酒匂四段(錬士)を破り、準決勝には東大の小松崎四段に勝ち、決勝戰には早大の津島四段と對戰して見事擊破して、堂々と優勝の榮冠を握つて萬丈の氣をはいた、(鬪戰六時

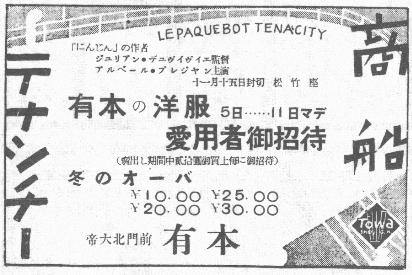
短歌會本月例會

全京大短歌會十一月例會は來る十二日(月)午後六時から樂友會館で開催、會費十五錢、詠草は九日までに吉田泉殿町四一仲井方吉田要宛あて送附のこと

今井洋服店
1934年型
京都市河原町丸太町上ル
電話上(3)四二〇四番

本志久
蓄音器　レコード　社交ダンス　ラヂオセット
電上五四六九
熊野神社南

呼吸器科
舞子病院
兵庫縣垂水町　電舞子四六
醫學博士　楢林兵三郎
本院　西須磨學校東　電須二五二
分院　神戸中山手二丁目電停[illegible]　神戸レントゲン研究所
楢林院長診察(火、金)



商船テナシチー
LE PAQUEBOT TENACITY
「にんじん」の作者
ジュリアン・デュヴィヴィエ監督
アルベール・プレジャン主演
十一月十五日封切　松竹座

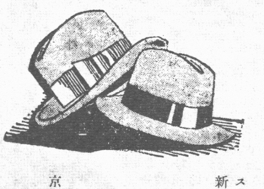
有本の洋服　5日……11日マデ
愛用者御招待
(賣出し期間中貳拾圓御買上毎ニ御招待)
冬のオーバ
¥10.00　¥25.00
¥20.00　¥30.00
帝大北門前　有本

歐米漫遊と海外留学の・洋服はロンドンスタイルの長屋
京大共濟部指定
寺町丸太町南
電上四六三・上五七四四

シーズンの豪華版!!キネマ俱樂部
"第三階級"八日封切
誇かに捧ぐ秋の最高感激篇!!
將來サラリイマンとして起つ諸賢の必見すべき是は獨逸小市民階級を深刻に描寫せる痛烈なる生活記錄だ!!
ユニヴアサル社秋の超特作・・
「第七天國」のフランク・ボーザージ監督作品
「昨日」でデビューせるマーガレット・サラヴアン
ダグラス・モントゴメリイ主演
歐洲出版界に新記錄を作れるハンス・ファラダ原作より
第三階級

パラマウント社一九三四年最八巨篇
クレオパトラ
"十誡""暴君ネロ"の監督者
巨匠セシルBデミル監督
クローデット・コルベール主演
ヘンリイ・ウイルコクスン
ワーレン・ウイリアム
共演
・・エキストラ登場人員一萬人
CECIL B. DeMILLE'S "CLEOPATRA"
A Paramount Picture with
CLAUDETTE COLBERT
WARREN WILLIAM
HENRY WILCOXON
近代文學中にも尙其の比を見ざる豐艶な
る肉慾描寫の戀愛史劇クレオパトラ!!
燦然たるエジプト二千年の昔の大歷史!!
十一月十五日より封切決定!!　十二巻

洋服はフレンチスタイルの若葉屋で
帝大農學部正門前



高級學生帽製造販賣
冬の中折帽子
◆五十錢以上一割引◆
スマートな一九三四・五年冬の流行
新型代表品を取揃へ陳列……
◇◇一度御來店御高覽下さい◇◇
新製國產品
△八十錢……八圓
新着輸入品
△六圓以上……
△ボルサリノ帽子
拾四圓五十錢ヨリ拾七圓マデ
●大吋小吋各種揃へてあります●
京大共濟部・樂友會指定
山本帽子店
京都・熊野神社丸太町上ル東側

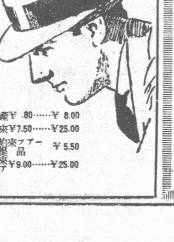
醫・農・理・工學部
講義プリント
各學部ノート筆寫
プリント社
萬里小路近衛上ル
電話上六四五四番
醫学部西側

香道樂
これ程までにはならなくとも一本や二本位呑めなくちや
奴大ぶん變つてるねエと人から言れます
いろ〱の鍋料理手輕に召上れます
新京極
江戸風流・季節料理
正宗ホール
電話本局一八三五番
東京店　銀座四丁目

雜誌 會報 並ニ諸印刷
親切本位の
上田鮮明堂
吉田下阿達町
電上四四八二

と要品・上田寫眞器店・
熊野神社前電停上ル
電話上三四一六番

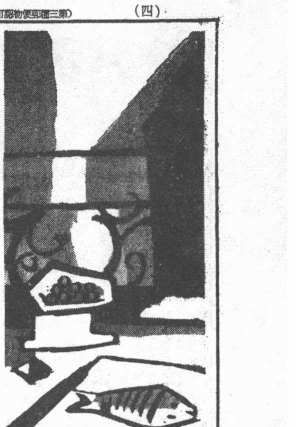
カメラ各種
小型活動
在庫豊富
カメラ
御不用品
特ニ高價
即金買入
わかばや寫眞機店
京都四條富小路・電本3924



1935年新型
中折帽子　百五十餘種類
感覺的な色と型
御氣のまゝに
京大共濟部・樂友會指定
◇一割引◇
マルニ帽子店
京都店　東山線熊野神社上ル　電話上一八一八番
伏見店　下油掛町納屋町西入
國產　¥.80……¥8.00
舶來　¥7.50……¥25.00
舶來フアー品　¥5.50
特輸 提來 ペロア　¥9.00……¥25.00

講義プリント
謄寫印刷
京都帝國大學北門前
黎明社
電話上四六二三番
振替大阪六四〇六七番

尊攘堂の所藏品から

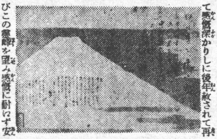


▽尊攘堂は明治二十年三月品川彌二郎子爵が、その先師吉田松陰の遺志をついで京都高倉通錦小路に建てられしもの、勤王志士を祀り天下の人心を振興せんとする松陰の志を以て、堂内に諸志士の靈を祀り、又その殉難者讃に關する史料や遺墨遺品を蒐集し、毎年莊嚴なる祭典を營んで一般に公開したのである、その後一切を擧げて京都帝國大學に寄附するの氣運に向ひ、明治三十六年に至り本學構内に現在の尊攘堂が竣成して藏品全部を移管したのである

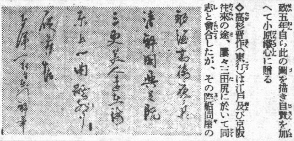
▽今は年ごとに吉田松陰の忌日である十月廿七日を期して祭典を行ひ、殊に三年目に一度は朝野の名士を招待して大祭を擧げ展觀をなすことになつてゐる

今年はその大祭の年であり、加ふるに元治元年蛤御門の戰より七十年に當る爲特に盛大に擧行され、合計千數百點に及ぶ藏品の内から精選された遺墨遺品の展觀は宛ら幕末維新の緊張せる雰圍氣に似たものを醸し出してゐた

いま展觀品の三、四について古を偲ぶと——

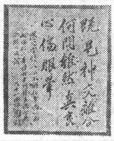


◇天保十四年高島秋帆、罪を獲て江戸に護送される途上富士山を見て感慨深かりしに後年赦されて再びこの靈峰を望み感慨に耐へず安政五年自ら此の圖を描き自贊を加へて小原鐵心に贈る



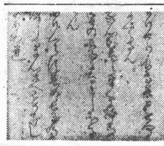
◇高杉晉作（東行）は江戸及び京阪往來の途、屢々三田尻に於いて同志と會合したが、その際船問屋の行燈に、醉うて戯書を走らせるものといふ

◇安政六年松陰捕はれて萩を出發せんとする時、品川思父（彌二郎）がその離別を惜みて歌を贈れるに感じ、深切の言句を以てこれに酬



ひしもの

◇平野國臣は福岡の藩士、尊王攘夷の運動により屢々幽捕せらる、



寫眞は牢獄にあつて紙筆を得られず紙撚を飯粒にて貼附して、獄舎の春の侘しさを述懐せるもの

（T生）

十一月の京都

江馬務

肌にはうら寒いが此月の京都は秋色酣に、野も山も紅錦繡に彩られて目もあやに、神社佛寺の行事の外、家庭の行事も多い。神社行事の随一は何といつても御火焚が中心である。御火焚は、京都では「お火たけ」といひ、社頭に木を井筒形に積んで之に火をかけ燒く行事であるが、これは佛教の護摩と系統を異にし新嘗祭と神樂庭燎曲に倣ひ夜間神を祭り、庭燎を焚くことから發したといふ説が最も有力で、一日が八坂神社、八日は稻荷神社、十五日は今宮、十八日御靈などの外、こゝかしこの小社でも行はれ、積上げた松割木の中に入れた竹が爆ぜると、神に供へた蜜柑を集まつた子供に投げる。稻荷では此の日は特に夜間神樂が行はれ、神の廣前に人長が青摺衣を着て優雅な神樂歌につれて舞ふ情景は眞に莊嚴そのものである。

神事で興味のあるのは今一つ珍らしいのは二條通烏丸に祀つた醫藥の祖神農氏の祭で明治節の日に行はれ、町内には作り物を店頭に作つて見せる風があり、茶席で牛若辨慶を作るなど奇想天外趣向を競ふ。佛事では十三日に空也忌がある。蛸藥師油小路の極樂寺空也堂で執行される。上人を始め多數の半俗半僧の門弟が集つて開基空也上人追善の法會を營むが、この宗派獨特の瓢を叩いて體を折り異樣の物腰で踊念佛を行ふところは他宗で見られぬ奇觀で所謂踊念佛の遺風が鎌倉時代から發して今もこゝに名殘を留めてゐる所が嬉しい。十六日は東福寺開山忌、廿一日は報恩講が東本願寺で營まれる開祖親鸞上人の忌日なので御祥月御正忌などいひ七晝夜の大法會で廿一日午後の法要から始つて廿二日が初日、廿五日が中日、廿八日が結願この最後が最も重い式である。日々晨朝、日中、逮夜の三度の法要が反復され、結願の日の式間念佛は五體を振る特殊念佛で、その日の和讃も重きを置かれ、全國の信徒堂に溢ち滿ち何れも法悦に咽ぶのである。佛寺ではあるが少し趣を異にした行事は十六七日の六角堂池ノ坊の七夕花道展で、七月七日の行事を繰越したもの、全國の同流師範門弟は擧つてこゝを先途と血みどろの競技を行ひ、六角會館は時ならぬ百花爛漫の盛況を呈する。

×××

眼を轉じて家庭の行事を觀ると一日には髪置や袴着等で氏神へ參る風習がある。これは元來小笠原流古式では十五日に參つたもので、霜月は一陽來復の月、十五日は月の滿ち慶たい日なのでこの日を撰んだのだといふ。髪置とは徳川幕府時代には男女三歳になるまで髪を延ばさず、この日から延ばすので、白髪といふ麻苧を頭に載せて髪の延びるを祈るめた社參したもの、袴着は男子五歳で始めて袴を履き社參することで、此の外女子七歳の時始めて帶を締めるので社參の儀があり、之を七五三の祝といふこれ十五日の行事が一日に取越されたものである。

社のお火焚は佛教と因縁を結び廿六日の愛染縁日には藍染屋がお火焚を行ひ、釜の中の端に神酒を供へ火を焚き釜を圍んで「お火焚ノーノー、蜜柑饅頭ほしやノー」と囃せば蜜柑饅頭、おこしを子供店員へ與へる風があり、廿八日の不動の縁日には火を扱ふ商賣、風呂屋、瓦屋、湯熨斗屋、銅屋、染屋などが火焚を催す。八日の稻荷お火焚には鞴祭といつて鍛冶屋がお火焚をするのは三條小鍛冶稻荷の信仰から來たことか。子の日には子祭といつて大黒天を子の刻二股大根で祭る風習がある。これ十一月が子の月であるからで、鼠に因縁ありと傳へる大黒天を祀るのである。亥日には炬燵を開く。猪は多産するので、この縁起を祝ふとのことである。

×××

十一月の社會行事としては廿七日から帝展が來る。表展が開かれる、岡崎公園は美術の秋が展開される。その他祇園先斗町の溫習會洛趣會等々、賑かに暇がない。圓山公園の菊花壇紅紫黄白の美を樂しむもよく、三尾その他の紅葉も一日の行樂として充分であらう。

京學生俳句

田所青荷

ねぢけたる心淋しく栗拾ふ　有馬宇月
洪水の明け馬柵の潰れと牛は浮き　福永一楮
秋の薔薇するどき棘におとろへぬ　福本流枕
かまきりのあほむく空の青きこと　山田空廊
崖からの瀧見魚梁をかけてゐる　木野貞一郎
柿いくつ土にまみれてあらし去ぬ　豐田誠
霧かさみひそかにけふの太陽も老ひぬ　吉澤卯

落葉燒く煙のあやし霧の中　藤野敏行
すゞかけの落葉を目に[illegible]中どり　勝目徹意
刈りすゝみ來しこの畔に虫なけり　釋野鬼念
壁つとふ虫影ながき夜寒かな　吉田すばる
高き戸開いて閉りぬ秋灯　村田義夫
靜眼に月の上りの遅きかな　桝崎芳治
奥山は暮れて河鹿の夜となりぬ　柘植まさし
主婦の衣に動く模樣や水の照り　桂樟蹊子
葡萄熟れそのむらさきに心澄む

吉井勇の歌集「人間經」を讀む

山本杜子郎

年少にして既に情痴の味を解し杯中に人生を觀たる氏が作歌生活三十年の長きを經て最近歌集「人間經」を世に出された。

「顧みれば華かなりや半生は酒と女の中に逐れる」氏を人生の卑怯なる逃避者として正面からは非難することが出來ても尚は「紅燈の巷にゆきて歸らざる人をまことの我と思ふや」と歌ひあげた氏の面目を忘れてはならない、この時既に氏の人間經は始まつたのである紅燈綠酒に人の情を探り又市井の賤人馬樂を愛したのもすべて氏の人間經の「行」であつた。

氏は今知命の域に至らんとしてその夫人の問題の爲めに今相模野の一隅に庵を結び、己を今西行に比して獨り行ひすまし、こゝに氏の人間經はある完結を示さんとしてゐる。この際近作六百首を錄して人間經と題されたと、又大に意義のあることである、牧むる所殆ど羇旅の歌ではあるが、歌ふところすべて心境歌のみと云つていゝ、何を心境歌といふか坦々として歌ひあげた、これらの歌が雄辯に答へるであらう。羇旅の歌でありながらこの歌集は遂に山海經とならなかつたことを氏の爲めに喜ぶものである。

「吉井勇の歌は古い」と云はれてもそれは止むを得ない、然し明治大正の歌壇を通じて、歌壇意識へ一瞥の顧慮すら與へることなく、これだけ心すなほに歌ひ續け得たものは他にないのである。その間に得た高き境涯は形の中にあつて形を止揚するの力を得た。だから氏の歌は古きが故に尊いと云へるであらう。

又氏の歌に傑作はないと云ふかも知れない。然しこの歌集は傑作を求めて讀む歌集ではない。余のいはゆる心境歌に在つては、傑作的なものより形の整はぬところに、むしろ破綻のあるところにその好さを見んとするものである。殊に本集の如き殆ど旅に於ての連作的歌に在つては、どれを傑作として拔き去ることが出來ないのであつて全卷を通讀することを要求する。けれども、念々に作者の歌ひ續けた心境を心として讀むとき決して失望はしないのである。

旅に出づ涙を酒にまぎらしてあるもよけむと思ふまにまに
われは旅に妻は夜戸出に子はひとり婢と遊ぶあはれなる家
往ぬべきは往ねしかすがにいさゝかの愁を持ちて旅に出でける

歌人勇の歌境は愈々冴ゆてなほ感傷と情熱とを失はないのである、

過ぎし日の華奢も夢かと思ふとき艷隱者めく寂しさのわく
われとわが野晒し姿まざまざと月にこそ浮べ夜半のまぼろし

氏は歌ひつゞける

かくてわが人間經は卷末に近づいたのであるが、本集には序文も卷末記も附してゐない、卷頭に文壇の耆宿佐藤春夫氏の序詩を配し、更にうれしきは佐渡の旅に同行せられた小杉放庵氏の心境的な水墨繪が集中の所々を飾つてゐることである、その瀟洒なる裝幀と共に三身一體となつて人間經は世に出たのである、多數の愛讀をおすゝめする（政經書院・一圓八十錢）

母の手

淸水光

映畫「母の手」はレオン・フラピエの小説から題名と主題の一部を借りて來てゐる。この小説は相當の家庭から保育園の園婦に身を落したロオズといふ一女性の手記といふ形を取つてゐる。如何にも主觀性の勝つた作品である。メニルモンタン界隈にある保育園を女らしい感覺をもつて描寫し、それと共に型通りの環境を無視した、そこの訓育に對する抗議を多分に含んでゐる。その反抗的な氣持は時にヒステリックに感ぜられるほどである。

映畫「母の手」はこの小説とは甚しく異つてゐる。映畫で主役的に重要な役割をするマリイといふ子供は小説にはまるで現れてこない。從つて母に逃げられたマリイをロオズが家に引き取るといふ事件も、ロオズと視學リボアが結婚するのを知り、やがて孤獨に陷るであらう絶望からマリイが海に身を投ずる場面も、全く映畫のために作られたものである。

このやうに文藝作品を映畫化するに當つて、映畫獨自の立場から原作を改變するのは、寧ろ當然のことである。しかし「母の手」の場合、その原作からの再構成が果して立派に映畫的に出來てゐるかといふに、殘念ながら著しく不完全である。

この映畫に現されてゐる子供達は顔附から服裝から痩せて穢らしく、ごみごみして如何にも貧民窟の子供らしい。子供がたゞ歩いてゐても、遊んでゐても、喧嘩しても、塵箱から花を拾つても、便所に入つてゐても、皆、穢いけれど愛すべき子供達である。この子供の克明な描寫は實にリアリスティックである。子供のゐる保育園の風景は小説とは全く別で決してそれに劣らぬ出來を見せてゐる。

所が大人が困り者である。子供に對して、大人は何となく不自然である。この界隈の環境を無視した型通りの園長や視學や保姆が出て來る。子供達がこの界隈をよく現してゐるので、それが一層目立つのである。例へば園長の動作の誇張はカリカチュアに至らずして中途半端に終つてゐる。小説に現されてゐる型に嵌つた訓育への抗議が映畫では著しく微温的である大人の動作の中途半端なのは、この點に對する映畫化の態度の不徹底なのを現してゐるのである。

この映畫の作者は、子供を克明に寫し保育園を風景畫的に描き出すことには成功してゐる。また保育園の内外の個々の事件を巧妙に描く映畫的な技巧をも心得てゐる。しかし作品全體を映畫的に纏め上げる構成力に缺けてゐる。

裕福な頃のロオズが人々と踊る場面を、最初に漫然と附加してゐるのは、小説の序文的部分に相當してゐるのだとしても、映畫に於いては木に竹を繼いだ感じである。かういふ處に小説からの再構成力の不足が見られる。しかし、それより映畫全體を緊密に黏綴して、それを纏め上げる役割をもつてゐるロオズと視學リボアの關係とその戀愛過程が甚だしく型通りでそれ以上突き込んで描かれてゐない。そのためにロオズのマリイ保育園に對する氣持が一方によく描かれてゐながら又妙に淺はかなものに感じられる。深刻な出來心といつた感じさへも受けないことはない。このために部分的のよさが生きて來ない。例へばマリイが絶望的な氣持から港へ來たが、そこにも男と女を見て、その海に寫る影に石を投げ唾をかける。それでも男と女は消えない。その男と女が、母とその相手の男の顔になる、悶ゆる耳許にロオズの囁きが聞ゆる、遂に惑亂の極、海に落ち込む。この一場面など映畫的に非常に巧妙に出來てゐる。しかしその前のロオズの結婚問題が甚だ物足らぬので、それがこの場面の力をも削ぎ取つてゐる。

「母の手」はよく「制服の處女」や「にんじん」に比較されてゐる。勿論これらの作品の完全に近い渾然たるものを「母の手」はもつてゐない。しかし、より多くの問題を含み、幾多の問題を殘してゐる（一〇、三一）寫眞はその一場面

映畫雜感

くちき・かん生

（1）

先日も友達に出會つたら「その夜の女」がいゝさうな、島津が新境地を開いとるげなと言ふので、觀に行つた。が、やつぱり例の如く馬鹿らしい氣持で歸つて來た。あれでネオ・レアリスモもないものである。一から十まで現實の皆を、現實の形態を出さう出さうと努めながら、而も觀る者につくり事としてのそつけない感興しかあたへないと言ふのはどうしたことか。

（2）

この前京大新聞でみた千葉氏の「映畫小論」は尤もな話であるから、僕も尤もに思ふ。映畫を愛する程の者は誰しもオロカシキ映畫の氾濫を慨嘆する。が、やむを得ない。わが國には、オロカシキ映畫なるが故に隨喜するオロカシキ大衆が充滿してゐるのだから。飯を喰はねばならない製作者達は、必然大衆に迎合し、お涙頂戴に走り出る。千葉氏の監督者の良心に對する抗議は、寧ろ腰の弱い製作者に乃至は大衆自體にむけらるべきではなかつたか。

僕は低級な作品はいくらあつてもいゝが、唯ちようど文學が純文藝と大衆小説と截然區別されてゐるやうに、なんとか發表機關を異にすると言ふ風に出來ないものかと思ふ。事實映畫にも純文藝に匹敵するものが存するのだ。映畫をくだらないと言ふ人達に、たとへば小津安二郎の「東京の女」「出來ごゝろ」キング・ヴィダーの「南風」を見たかと訊いてみると、必らず觀てゐないのである。無理もないことだ。現在の狀態では、大衆作品の渦の中にそれら數少き作品は沒してゐるのだから。

（3）

文學者の映畫批評はやめて頂きたい、映畫を映畫として理解するので無い限り。「二人が初めて逢つて接吻するところなんか實に綺麗だ」式の所謂文學的批評は御愛嬌だが、「映畫は時間的空間的に束縛されてゐるからいくらあせつたところで文學の自然さに及びつかない」等と廣言するに至つてはカタハラ痛い。映畫は文學から全く獨立した藝術である、空間的時間的束縛をうける點から言へば繪畫や演劇は同樣である。而も誰もその藝術的價値が文學より劣ると思ひはしない。

（4）

ところで映畫は文學に比ししかく思想の發表に不自由なのであらうか、之に就て、岸田國士氏は映畫「にんじん」の批評の際「映畫は暗示と省略の二點に於て文學に劣る」と言つてゐる。之は一箇の監督者デュヴィヴィエの映畫手法に對してはイミジクも評し得た言葉であるが、映畫一般に對しては當らない。若し映畫に暗示が無いと言ふのなら、たとへば小津の「東京の女」を觀て頂きたい。省略が不便だと言ふのなら、ソヴイエート映畫「狙撃兵」を觀てから文句言つて頂きたい。出征兵士が街頭を行進する太鼓の音から直ちに戰場の砲煙に轉換するカットバックの迫力は文學的表現の到底及び得るところではない。

音樂、美術、文學の諸要素を包含する映畫藝術は、複雜なるが故にその表現は困難であらう。然しカメラの性能を獲得せる監督者にとつては之程具體的な直截な思想表現の手段を他に求め得ないのである。

（5）

いつたい映畫「にんじん」は褒められ過ぎた。あのガッチリした構成とテムポは、抒情詩の朗讀を演説口調でするやうなもので、好感がもてない。

雜誌（十一月號）

▼科學（岩波書店・四十錢）▼東大春秋（其社・廿錢）▼大原社會問題研究所雜誌（栗田書店・四十錢）▼解剖時代（紀正チャーナリスト同盟・卅錢）▼いぶき（其社・卅錢）▼優生學（其社・三十錢）▼經濟評論（叢文閣・四十錢）▼京大作品（其社・廿五錢）

吉井勇著
人間經
歌集
四六判二七六頁
絹張木版手摺裝
定價壹円八拾錢
送料十二錢

嘗つての日、酒ほがひ華かなりし、歌聖吉井勇、頃はじきこの世の苦悶を一身に荷ひ、著しき歌聲の變化は、惻々として、讀む者に迫る、本書は今西行ならね、南國土佐に廬りして、歌に精進する吉井勇氏の歌集である。
浪々の身に、假寢の宿に、子を想ひ、世を凝視め、そして猛く生きむことを希ひつゝ歌ふ、題して、人間經と言ふ。人よ!! 一本を手にし、一首を味讀せよ、誰か涙なくして讀み得るや。

秋爽の讀書界に捧げる香り高き藝術書!!

近刊
相聞居隨筆
四六判三〇〇頁
定價一・五〇豫定

文學博士成瀨無極著
人間凝視
四六判四三〇頁定價一・八〇
木版手摺美裝送料・一〇
本書は著者が最近拾ケ年間、時に觸れ折に觸れて書誌るされた珠玉の勞作の集韻である。獨逸文學者としての視角からする文明批評就中ゲーテ、ハウプトマン等の文學的研究は正にこの著者の獨壇場である。文藝愛好家は勿論のこと、一般讀書子の卓上にすゝむ。

文學博士成瀨無極著
人生戲場
四六判四二〇頁定價一・八〇
木版手摺美裝送料・一八
現實の人生をそして現代の世相を一つのドラマと觀じ、喜怒哀樂の一齣一齣を理智の明鏡を通して達觀せられた、著者成瀨博士は「人生戲場」と題して本書を公刊せられた。この書は前に刊行された評論集「人間凝視」の姉妹篇をなすもの。さあれ、生きとし、生けるものゝ苦悶と、生き難きこの世の憂愁とを、著者の豐富な體驗の裡に、明朗なる解決への示唆を與へてゐる。粒撰の小品、香ぐはしき戲曲、人間と宇宙の赤裸々な實相、われらは確信を以つて、この書を一般讀書家の卓上に捧げる。

文學博士太宰施門著
ルソーよりバルザックへ
四六判三〇二頁特洋布裝函入・定價一・八〇送料・一六
本書は佛文學の泰斗太宰博士が、拾年の久しき研鑽の蘊蓄を傾けて成れるもの。嘗つて京大文學部に於て、「プレ・ロマンティスム」と題して講ぜられ、或はまた諸雜誌に發表されて幾多の反省を我が文壇に與へ、嘖々たる好評を博した比較文學の名論集である。
我が邦文壇の貧困と、バルザックへの渇仰が叫ばれてゐる今日、この名著の上梓を見る。本書こそは正にバルザック研究への手頃な入門書である。汎く文學愛好家の一讀を切にすゝむ。

京都府師範學校史友會編
小學國史教師用書
史料詳解
菊版百頁定價四拾錢送料四錢
日本精神の把握は史料の精密な研究とそれの綜合的精神史的批判にある。然り本書はその要求に依つて生れた。堂々全三十六卷毎月一冊刊行。詳しくは内容見本の御請求を乞ふ。
監修
東京文理大松本教授
東京高師峰岸教授
東京高師齋藤教授
東京高師木代教授
內容見本進呈

京大助教授蜷川虎三著
漁村の更生と漁村の指導
四六判四五〇頁
洋布裝函入
定價二・三〇
送料・一八

京都市河原町二條角
東京市麴町富士見町二の八
振替大阪壹五七五四番
合資會社政經書院

永遠不滅の母性愛に立ち女性と母性の矛盾相剋を描き無心の神の如き子供の世界を麗叙す！涙や嘆聲を絶して惻々胸を搏つ魂の救ひの聖典だ！敢て父たる母たるべき人々に捧ぐ！

歐洲ではかの名作にんじんを壓して世界を震憾させたナチスの獨逸でさへこの映畫の輸入税を免除したときく崇い誠に貫く地上最高の感激篇

「母の手」は純眞な人間愛の發露である　——文部大臣 松田源治閣下

京名保育園
母の手

この映畫に似たものを求めるなれば「にんじん」と「制服の處女」であるが「母の手」はそれよりも複雜で深刻です。——倉田百三氏——

主演 マドレーヌ・ルノオ　ポーレット・エランベール
共同監督 ジャン・B・レヴィ　マリイ・エプスタン
フオト・ソノオル社最高の傑作日本版
村岡花子・内田岐三雄 日本版監修
三映社特別提供

朗かなユーモアに粉飾されてもなほ現代にこの笑ひ得ない人生の道化の幾多あるところか？是は山村の校長を奉職すること廿四年の氏の道學者的生涯に材をとり巧みな諷刺と諧謔をもて世相を抉る涙と笑ひの現代大素描編

あるぷす大將

吉川英治原作　松崎啓次脚色　山本嘉次郎監督　P・C・L社製作トーキー　丸山定夫主演　竹久千恵子　千葉早智子　助演

●せめて半年に一本はと待望してゐた日本トーキーの傑作！敢て「母の手」と併映して映畫愛好者の清觀に寄す●

秋の映畫的話題を獨占して萬人の魂に迫るもの、そゝ錯雜たる世相に歪められた[illegible]の聖典だ

京都 松竹座
愈々九日限り！延日をしないと決定！

銘酒
澤之鶴
芳醇を家ごと競ふ
石崎株式會社京都支店

時計　メガネ
專門店
頗ル精巧ナル修理　一ケ年責任保証
近代的時計店　ツダイ
眼鏡レンズ
百萬遍東門前

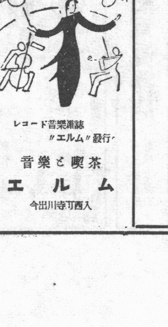
學生樣本位
正確なる
時計と眼鏡
三光堂
親切第一
共濟部指定
東山線大學病院東横

講義プリント
各國語飜譯
京文社
百萬遍電停北半丁西入

主食代用
勞研饅頭
吉田泉殿町三八
丸岡堂
電上四七三

美留軒
本店　帝大正門前南入三高東門前
共濟部指定出張所　學內正門西入
店舖の歷史は古く
技術者は新し
本店技術主任　特種アイロン研究者　山本俊之
出張所主任　理容學校講師　上田三郎

寫眞は裏門佐伯へ



レコード音樂雜誌〃エルム〃發行
音樂と喫茶
エルム
今出川寺町西入

京都市中京區竹屋町寺町東入
電話上③二一一五番
振替口座大阪二二四〇六番
フランスパン
進々堂
支店　左京區帝國大學北門前
電話上③二七四四番
ノートルパンコチディヤン（支店內食堂）